

2025年度IRCプロジェクト活動報告書

1. プロジェクト申請所員名

- 1-1.申請所員（漢字）：[塩原 朝子]
- 1-2.申請所員（カナ）：[シオハラ アサコ]
- 1-3.申請所員（ローマ字）：[Shiohara Asako]

2. プロジェクト名称

- 2-1.プロジェクト名称（和）：[土田滋博士ツォウ語Duhtu方言フィールドノートの書き起こしとTEIに準拠したエンコーディング]
- 2-2.プロジェクト名称（英）：[Transcribing and Encoding Dr. Shigeru Tsuchida's Tsou (Duhtu Dialect) Field Notes in TEI]

3. プロジェクト代表者（・副代表者）名・所属

- 3-1.プロジェクト代表者（漢字）：[塩原 朝子]
- 3-2.プロジェクト代表者（カナ）：[シオハラ アサコ]
- 3-3.プロジェクト代表者（ローマ字）：[Shiohara Asako]
- 3-4.プロジェクト代表者所属：[AA研]

4. プロジェクトの参加者名・所属

- 4-1.プロジェクト参加者1（漢字）：[深谷 康佳]
- 4-2.プロジェクト参加者1（カナ）：[フカヤ ヤスカ]
- 4-3.プロジェクト参加者1（ローマ字）：[Fukaya Yasuka]
- 4-4.プロジェクト参加者1所属：[広島大学]

5. 今年度のプロジェクト活動報告

- 土田滋博士ツォウ語Duhtu方言フィールドノートの書き起こしとTEIに準拠したアノテーションを行った。2026年度はフィールドノートDuhtu1の入力を完了し、その成果は2025年度中に東京外国語大学リポジトリから元データ（ノートのPDFファイル）と共に公開予定である。また書き起こしデータに将来的に語彙集として利活用することを見越したアノテーションを試行的に施した。この試みの内容を2026年3月に公刊予定の論文（深谷康佳, 塩原朝子, 高橋洋成 2026）にまとめた。
深谷康佳, 塩原朝子, 高橋洋成. 2026. 「台湾原住民9言語におけるSwadesh基礎語彙対照表：土田滋博士のフィールドノートデータに基づいて」. 『土田滋博士の台湾原住民資料に基づく研究』. 府中：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所. pp. 19–30.

6. プロジェクトの成果となるオンラインリソースの名称・公開URL

- 6-1.成果物1名称（日本語）：[土田滋博士ツォウ語Duhtu方言データ]
- 6-2.成果物1名称（英語）：[Dr. Shigeru Tsuchida's Tsou (Duhtu Dialect) Data]
- 6-3.成果物1名称（その他あれば）：[]
- 6-4.成果物1公開URL: [https://tufts.repo.nii.ac.jp/search?page=1&size=50&sort=custom_sort&search_type=2&q=1711529791811]

